平成30年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	12	事業No.	110		
事務事業名	児童発達支援センター事業	会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	子育て支援課	開始	H24	終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画	○		地域福祉計画
	法令・例規等			児童福祉法
				障がい者総合支援法

事業目的		
	対象	飯田、下伊那の障がい児
	意図	早期療育のため施設利用を希望する保護者の要望に的確に応え、利用児童の特性に沿った支援をします。利用児童の障がいの理解と軽減を図ります。

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	在籍児童数は定員の１．１３倍、１日平均３４人の利用があり、相談支援専門員による利用計画作成数は５８人実施しました。様々な障がい特性に応じた発達支援・家族支援が必要であると共に、保育園・幼稚園との綿密な連携会議が求められています。また職員の資質向上と、地域・医療・教育との連携が重要です。

30年度取組

取組内容

職員の専門性を高めるための研修内容及び計画の見直しを行い実施することが求められています。また、こども家庭応援センターと業務分担の見直しを実施する中で、各ライフステージに添った支援の在り方についても各センターで構築する必要があります。飯伊地域の療育及び発達支援を重点的に担うひまわりと、要保護家庭を中心とした支援を担うこども家庭応援センターの連携体制を見直していくことが求められます。

経費の内容	事業費(千円)
臨時職員賃金	15,277
代替職員雇用賃金	3,431
送迎車両運転及び施設営繕業務委託料	2,403
賄材料費	4,625
理学療法訓練等委託料	1,087
光熱水費	2,744
使用料及び賃借料	1,945
その他の経費	5,362

活動指標

指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度 計画	平成31年度 計画	平成32年度 計画
通所児童在籍児童数	人	45	45		
年間新規利用児童数	人	12	12		
年間退所児童数	人	12	12		
利用計画作成	人	65	65		
継続支援計画作成	人	100	100		

30年度予算

財源の状況(千円)	当初予算額
事業費　計	36,874
国庫支出金	0
県支出金	315
地方債	0
その他	23,827
一般財源	12,732

特定財源内訳及び補足事項

（県）地域福祉総合助成金（１／２）
（そ）発達支援センター利用負担金（他町村分）　3,283千円
（そ）児童発達支援給付費負担金　15,653千円
（そ）発達支援センター通所利用者負担金　2,153千円
（そ）諸収入　2,738千円

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	3	2	4	10	1	23,659 / 0	発達支援センター管理費
2	1	3	2	4	10	2	3,431 / 0	代替職員雇用事業費
3	1	3	2	4	11	1	9,784 / 0	発達支援センター事業費
4								
5								
6								
7								